

令和4年度 岡本西小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

1 基本目標

関係諸法令の精神と本県並びに本市教育委員会の方針に基づき、児童や地域社会の実態を踏まえて児童一人一人の特性や能力を最大限に伸ばし、心身共に健康で、創造性と実践力に富み、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

2 具体目標（子ども像）

○健康で明るい子ども(体) ○よく考える子ども(知) ○心が豊かな子ども(徳) ○がんばりぬく子ども

【合言葉】(た)(い)(や)(き) たくましく・いきいきと・やさしく・きもちをこめて

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学校・家庭・地域が一体となって、共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを創造する学校」を目指す。

人権尊重と「共に学び、共に伸びる」を学校経営の基盤とし、全教職員が信頼と協調のもと、「地域社会や家庭から信頼される学校」を目指して、児童一人一人のもつよさや可能性を伸ばし、将来において、自立と共生を基盤に夢や目標に向かって自己実現を図っていくことができるたくましい人間力を育てることに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 心豊かにたくましく生きる力の育成を目指して、児童一人一人がそれぞれのよさを発揮できる、PDCA サイクルを生かした活力ある学校づくりに努める。
- (2) 教職員がチームとして協働しながら指導力を向上させ、勤務時間を意識した働き方を推進する。
- (3) 主体的に学習に取り組み、豊かに表現する児童の育成を目指し、不断の授業改善を行いながら指導の充実を図る。
- (4) 道徳教育や多様な児童に寄り添う学級経営の充実を図り、豊かな心の育成に努める。
- (5) 基本的な生活習慣を身に付け、自ら健康や体力づくりに励む児童のたくましい心と体の育成に努める。
- (6) ○地域協議会との連携を深め、地域とともにある学校づくりを推進する。

[河内地域学校園教育ビジョン]

小中一貫を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します

4 教育課程編成の方針

- (1) 本校の教育目標、経営の方針、努力点に則り、地域の教育環境(小中一貫教育「すこやか河内学校園」)や学校の児童の実態および児童の心身の発達段階と特性を十分考慮し、特色ある学校づくりを目指しながら、心身ともに健康で創造性と実践力に富み、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指すよう配慮して編成する。
- (2) 学校マネジメントシステムの評価の結果を踏まえ、基礎的・基本的事項を確実に身に付け、心豊かな児童の育成と、自ら考え判断し社会の変化に主体的に対応できる能力(生きる力)の育成を目指して編成する。
- (3) 宇都宮市小中一貫教育の趣旨を踏まえ、「すこやか河内学校園」として小中一貫教育の意義を理解し、小中一貫教育を推進することを目指し編成をする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学校運営】学校・家庭・地域が一体となって、「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを創造する学校」を目指す
- ・地域の教育力を生かした教育活動の充実を図り、豊かな心や社会性を育むとともに、子供たちが共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わうことができる学校づくりを推進する。
 - ・教職員の同僚性を構築し、互いに高め合いながら成長し合う組織づくりを目指す。
 - ・業務改善と勤務時間を意識した働き方を推進する。
- 【学習指導】主体的に学習に取り組み、共に学び合う楽しさを味わう、心豊かな児童の育成
- ・『宇都宮モデル』に基づいた授業実践と個に応じた指導を充実させ、確かな学力を育成する。
 - ・互いのよさを認め合える集団づくりを大切にし、協働して課題を解決する態度を育成する。
- 【児童生徒指導】自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる児童の育成
- 時や場に応じたあいさつと言葉遣いの定着を図る。
 - ・規範意識を醸成し、正しく行動できる実践力を育成する。

- ・児童相互のふれあいの充実を図り、思いやりや豊かな心の育成を図る。
 - ・自己の生き方や人間としての生き方について考えを深め、児童の道徳的判断力、実践意欲と態度を育成する。
- 【健康(体力・保健・食・安全)】自分の体や健康及び安全に関心を持ち、進んで体力の向上を目指す児童の育成
- 感染症等に配慮しながら、主体的に体力向上や健康増進に取り組む意欲・態度を育成する。
 - 食事のマナーと望ましい食習慣の向上を図る。
- ・ 家庭・地域と連携した安全指導を推進し、安全に対する意識の向上を図る。

6 自己評価(評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	① 学習の見通しをもち、問題解決過程に則した授業を実践し、話し合いの場を意図的に設定し、聞く話す能力を高め、進んで伝え合い、共に学び合う力の育成に努める。 ② 小グループやペアなど話し合いの形態の工夫や対話的な活動、意図的な指名により、児童が話す機会を設け積極的に参加する態度を育成する。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>94.2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>90.8</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・継続して共に学び合う授業を行い、話し合いの場を意図的に授業に取り入れるなどして、積極的に学習する態度を養う。	児童	94.2	保護者	90.8	地域住民		教職員	100.0
	児童	94.2										
	保護者	90.8										
	地域住民											
教職員	100.0											
A 2 児童は、思いやり的心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「誰に対しても、思いやり的心をもって優しく接している」 ⇒児童肯定的回答 80%以上	① 縦割り班活動や教科等における異学年交流の機会の設定、地域の大人・高齢者との交流などにより、学年・学級・学校を越えた人とのかかわりを深める。 ② 道徳科において、考え議論する授業を展開し充実を図る。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>91.6</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>95.8</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・縦割り班活動を継続するとともに、楽しく充実感を味わえる活動を適切に設定する。 ・道徳科の授業を中心に学校生活全体を通して、児童同士が互いに認め合える機会を設定する。	児童	91.6	保護者	95.8	地域住民	100.0	教職員	96.0	
児童	91.6											
保護者	95.8											
地域住民	100.0											
教職員	96.0											
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活している。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童肯定的回答 85%以上	① 学校でのきまりを徹底するため全職員が共通理解の下、指導に当たる。特に「はっきりと返事をする」「廊下は右側を静かに歩く」を重点課題に根気強く取り組む。 ② 「岡西小よい子の一日」などを活用して、規範意識の醸成に努めると共に、よくできている児童を認め自己肯定感を高める機会を設ける。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>86.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>94.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>88.0</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・「岡西小よい子の一日」を継続的に周知徹底する。 ・校庭の使い方や廊下の歩行の仕方などについて、全職員が共通理解の下、指導を徹底する。	児童	86.9	保護者	94.7	地域住民	100.0	教職員	88.0	
児童	86.9											
保護者	94.7											
地域住民	100.0											
教職員	88.0											
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	① ○河内地域学校園あいさつ運動を実施し、意識の高揚を図る。 ② 教師の生活当番と児童と教師のあいさつ運動を活用することで、学校内外であいさつができる子どもの育成に努める。 ③ 毎月1日の「かわちあいさつの日」の啓発を図る。	A	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>93.8</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>81.3</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>88.0</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・毎月のかわちあいさつの日、地域学校園あいさつ運動や教師と児童による朝のあいさつ運動などを実施する。	児童	93.8	保護者	81.3	地域住民	95.7	教職員	88.0	
児童	93.8											
保護者	81.3											
地域住民	95.7											
教職員	88.0											

<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 運動会や持久走記録会・校外学習等の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努める。</p> <p>② ○集団や地域のために働く機会を設定するとともに、総合的な学習や町探検等の校外学習などにより、働くことの大切さや喜びを実感させる教育活動に取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>88.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>72.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等において個々の目標を設定させ、諦めずに粘り強く取り組む心を育てる。 ・地域でのボランティア活動や行事に積極的に参加するよう促す場面を設定する。 	児童	88.4	保護者	72.5	地域住民		教職員	96.0
児童	88.4									
保護者	72.5									
地域住民										
教職員	96.0									
<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ○食育日より、保健日より等で健康の保持増進や栄養のバランスのとれた食事の大切さについて啓発し、家庭との連携を図る。</p> <p>② 学校生活のそれぞれの場面に応じた感染症対策の実施。</p> <p>③ 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通じた安全教育を推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>92.7</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>89.9</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>88.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育日よりや保健日よりの発行で保護者に啓発する。 ・避難訓練や交通安全教室等を実施して、体験活動を通じた安全教育を推進する。 	児童	92.7	保護者	89.9	地域住民	100.0	教職員	88.0
児童	92.7									
保護者	89.9									
地域住民	100.0									
教職員	88.0									
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① キャリア教育や中学校訪問等で、自分の夢や目標を明確し、希望をもって生活できる環境づくりに努める。</p> <p>② 地域行事等の情報発信や啓発に努め、積極的な参加を促す。</p> <p>③ 奉仕作業や総合的な学習の時間などでボランティア活動についての理解を深め、活動を推奨していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>88.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>72.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。 	児童	88.4	保護者	72.5	地域住民		教職員	96.0
児童	88.4									
保護者	72.5									
地域住民										
教職員	96.0									
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教員が英語を積極的に使うとともにALTを活用し、言語活動を工夫して英語のやり取りを中心とした授業を展開する。</p> <p>② ALTとの交流や読み聞かせの時間などを通して、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>87.7</td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続してALTと児童、児童同士の英語のやり取りを中心とした授業を展開する。 	児童	87.7	保護者		地域住民		教職員	100.0
児童	87.7									
保護者										
地域住民										
教職員	100.0									
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート 「宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、岡本地区や宇都宮市を教材にした学習を展開する。</p> <p>② 地域の情報を収集し、学校だよりに掲載することにより、地域の良さを実感できるよう児童や保護者の地域活動を促進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>84.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>64.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮学、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間との関連を図りながら、児童が宇都宮の良さを実感できるようにする。 	児童	84.9	保護者	64.7	地域住民		教職員	96.0
児童	84.9									
保護者	64.7									
地域住民										
教職員	96.0									

<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「パソコンや図書等を学習に活用している」 ⇒児童肯定的回答80%以上</p>	<p>① 職員研修を充実させ、学級担任と情報教育担当やICT支援員、司書が連携し、タブレット、蔵書等、巡回図書等の活用を図る。</p> <p>② 読み聞かせの実施や図書だよりによる啓発、タブレットを用いた図書の紹介などにより、読書活動を推進するとともに、学級文庫の更新や辞書の活用等により学級における調べ学習や読書活動の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>92.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>79.1</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して学年に応じて、各教科、総合的な学習の時間等において図書等やICT危機を活用していく。 	児童	92.0	保護者	79.1	地域住民		教職員	100.0
児童	92.0									
保護者	79.1									
地域住民										
教職員	100.0									
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童肯定的回答80%以上</p>	<p>① 農園活動や総合学習等で、地域の高齢者との交流を行い、いたわりの気持ちや感謝する気持ちの醸成に努める。</p> <p>② ○相手を思いやり、時と場に応じた言葉遣いができるよう指導の充実に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>91.6</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>95.8</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各行事などを通して、他者を思いやる態度や言葉遣いができるよう指導していく。 	児童	91.6	保護者	95.8	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	91.6									
保護者	95.8									
地域住民	100.0									
教職員	100.0									
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている」 ⇒児童肯定的回答80%以上</p>	<p>① 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施し、家庭や地域と連携しながら、防災・安全教育を推進する。</p> <p>② ○新しい生活様式の定着や日常の清掃活動などを通して、学校内外の環境問題や環境維持を意識させる教育活動に取り組む。</p> <p>③ 各教科及び道徳の授業等と関連付けながらSDGsについての意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>85.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>76.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度同様継続的に実施し、環境問題や防災等の話題を上げ関心を高めるとともに、各教科及び道徳の授業等と関連付けながらSDGsについての意識を高める。 	児童	85.0	保護者		地域住民		教職員	76.0
児童	85.0									
保護者										
地域住民										
教職員	76.0									
<p>B1 児童は、学校や家庭で進んで読書に親しんでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「落ち着いて読書をし、読書の時間が楽しみである。」 ⇒児童肯定的回答80%以上</p>	<p>① 1か月の冊数のめあての設定やファミリー読書、必読書を精選し読破賞を実施し、読書活動に取り組む。</p> <p>② 学級文庫の貸出や市の図書館の巡回図書を利用し、朝の読書をさらに充実させる。</p> <p>③ 学校図書館司書と連携して、読み聞かせやブックトークを行う。</p> <p>④ 河内地域学校園で連携し、本の紹介を行う。学校図書館司書の授業への積極的参画により、読み広げ、調べ読みを推進する。</p> <p>⑤ ファミリー読書や読書月間に家庭と連携した取組を行う。取組について図書館だよりで保護者に知らせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>86.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>65.9</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内での読書推進のための取組を継続し、児童の読書活動を活性化する。 家庭と連携した取組を行ったり、取組について図書館だよりで保護者に伝えたりする。 河内地域学校園と連携して読書活動の充実を図る。 	児童	86.0	保護者	65.9	地域住民	90.0	教職員	96.0
児童	86.0									
保護者	65.9									
地域住民	90.0									
教職員	96.0									

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 校内支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、個別の支援計画に応じた指導に取り組む。</p> <p>② 校内研修等で、かがやきルームでの児童の様子や今後の支援のあり方を相談・検討する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td></td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td style="text-align: center;">96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・児童一人一人の実態把握に努め、全職員で共通理解をし、組織的に対応していく。</p>	児童		保護者		地域住民		教職員	96.0
	児童										
	保護者										
	地域住民										
教職員	96.0										
<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値目標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 児童への定期的なアンケート調査の実施や教育相談等において、実態把握に努めるとともに、いじめを発見した場合には、十分な指導支援を行う。</p> <p>② いじめゼロ集会、学校だより、学年だより、学校ホームページを活用すると共に、保護者会や個人懇談で直接説明も行い、保護者へいじめ対策を積極的に公表していく。</p> <p>③ 「岡本西小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめゼロ集会等はいじめは許されないことを周知徹底する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td style="text-align: center;">96.8</td></tr> <tr><td>保護者</td><td style="text-align: center;">77.9</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td style="text-align: center;">100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td style="text-align: center;">100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「岡本西小学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組を徹底し、いじめは絶対許されないことだということを児童に対して常に指導していく。</p>	児童	96.8	保護者	77.9	地域住民	100.0	教職員	100.0	
児童	96.8										
保護者	77.9										
地域住民	100.0										
教職員	100.0										
<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童(生徒)がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学習や生活指導をとおして、自己肯定感を高める取り組みを継続して行うとともに、児童の良さを積極的に評価するなどして、不登校を未然に防止する教育環境を整える。</p> <p>② 年2回の「なんでも相談」で、全児童と相談を実施し、悩みの把握と早期解決を図り、安心感の醸成に繋げる。</p> <p>③ 「友達のよさをみつける活動」を通して、友達同士で、よさや努力などを認め励ます環境づくりに取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td style="text-align: center;">95.9</td></tr> <tr><td>保護者</td><td style="text-align: center;">90.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td style="text-align: center;">100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「なんでも相談」や友達の良さを見つける活動を引き続き行い、児童が安心感をもって学校生活を送れるよう努めていく。</p> <p>・学習や生活指導をとおして、お互いのよさを認め合う活動を取り入れ、児童がクラスへの帰属意識を高められるようにする。</p>	児童	95.9	保護者	90.2	地域住民		教職員	100.0	
児童	95.9										
保護者	90.2										
地域住民											
教職員	100.0										
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 校内支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、個別の支援計画に応じた指導に取り組む。</p> <p>② 外国籍児童と保護者に対して、電話や連絡帳を通して連携を図るとともに、実態に応じて適切な支援に取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td></td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td style="text-align: center;">96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・家庭と連携した取組を推進し、必要に応じてケース会議を開き、適切な支援を行う。</p>	児童		保護者		地域住民		教職員	96.0	
児童											
保護者											
地域住民											
教職員	96.0										

<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「私は今の学校が好きです。」 ⇒児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 各種評価・反省等を生かし、学校行事、各種活動を適切に設定する。 ② 学校行事や児童会活動等の充実を図り、児童が主体的に意欲をもって活動できる場を多く設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>90.1</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>90.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 ・児童が主体的に活動し、充実感を味わえる内容を適切に設定する。</p>	児童	90.1	保護者	90.6	地域住民	100.0	教職員	96.0
児童	90.1									
保護者	90.6									
地域住民	100.0									
教職員	96.0									
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学習のめあてをとらえさせたり振り返りの場を設定したりして、見通しをもって学習に取り組ませる。 ② 単元や学習内容に合わせて指導形態を工夫し、TTや少数指導・習熟度別学習を通し、個に応じた指導に努める。 ③ どの子も分かる授業を目指し、特別支援的な視点を取り入れた指導の工夫を学校全体で取り組む。 ④ 各種たより、学校ホームページなどで学習の様子について知らせる。 ⑤ 家庭学習のヒント集やAIドリルを活用し、個に応じた家庭学習を推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>96.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>83.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 ・岡本西小授業スタンダードを継続して活用し、分かる授業や指導の充実を図る。 ・取組について、各種たよりや学校ホームページで保護者に伝える。</p>	児童	96.4	保護者	83.5	地域住民		教職員	100.0
児童	96.4									
保護者	83.5									
地域住民										
教職員	100.0									
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校行事や特別活動で、学年やブロックごとに役割を分担し、同僚性を発揮し協力して業務に取り組む。 ② 職員会議での説明や行事後の反省にミライムを活用し、情報機器を活用して、共通理解を図ることができる勤務環境を整える。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td></td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 ・互いに連携を図りながら、教職員全員で校務に取り組む体制作りに努める。その際ミライム等の情報メディア機器を効果的に活用する。</p>	児童		保護者		地域住民		教職員	96.0
児童										
保護者										
地域住民										
教職員	96.0									
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校目標及び今年度の重点について共通理解を図り、チームとして協働していくことで、同僚性を高める。 ② 学校行事や教育活動を見直し本来の業務をしっかりと行いながら、業務の適正化を図る。 ③ 学校情報システム等の各種システム等を活用して、業務の効率化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td></td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>92.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 ・働き方改革の意欲や職場環境を改善しながら、更に業務の効率化を図る。(リフレッシュデーの推進)</p>	児童		保護者		地域住民		教職員	92.0
児童										
保護者										
地域住民										
教職員	92.0									

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」</p> <p>⇒保護者肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 河内地域学校園内で連絡をとりあいながら、連携した取組ができるよう計画していく。</p> <p>② 「学校便り」等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</p> <p>③毎月一日を「かわちあいさつの日」として、地域で協力し統一した取り組みを行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>67.6</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>69.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域学校園内で、感染症対策を講じた上での取り組みを進め、保護者や地域住民に対して、より一層の情報発信に努める。</p>	児童	67.6	保護者	69.7	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	67.6									
保護者	69.7									
地域住民	100.0									
教職員	100.0									
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」</p> <p>⇒地域と児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 地域の教材や人材を活用した学習や体験活動を充実させ、授業に生かす。また、その学習の様子を地域に発信する。</p> <p>② 日頃お世話になっている保護者や地域のボランティアに感謝の気持ちを示す機会を感染症対策をした上で設けて、保護者や地域のボランティアに支えられているという意識を醸成する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>88.2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・児童が主体的に活動し、楽しく充実感を味わえる内容を適切に設定する。</p>	児童	88.2	保護者	78.7	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	88.2									
保護者	78.7									
地域住民	100.0									
教職員	100.0									
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」</p> <p>⇒保護者肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域の教材や人材、外部講師等の出前授業を活用した学習や体験活動を充実させ、授業に生かす。また、その学習の様子を保護者に発信する。</p> <p>② 保護者・地域ボランティア・警察と連携し、登下校の安全確保に努める。</p> <p>③ 授業参観や薬物乱用教室、出前授業（点字・手話・盲導犬・車いす体験など）を活用した学習を公開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>88.2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・感染症対策を図りながら、今後も外部の人材を活用し、地域や保護者へ実践内容や成果について発信していく。</p>	児童	88.2	保護者	78.7	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	88.2									
保護者	78.7									
地域住民	100.0									
教職員	100.0									
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」</p> <p>⇒保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 保護者へ災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知、AED等、危機対応に関する情報を提供する。</p> <p>② 全教職員による毎月の安全点検やAED講習、感染症対策を行い、児童や保護者、地域住民が安心・安全に活動できる環境づくりに取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td></td></tr> <tr><td>保護者</td><td>84.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、危機管理対応に関する情報を地域や保護者に伝えたり、校内の安全な環境づくりに努めたりしていく。</p>	児童		保護者	84.6	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童										
保護者	84.6									
地域住民	100.0									
教職員	100.0									
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「パソコンや図書等を学習に活用している」</p> <p>⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 毎月、施設・設備の整備や点検を実施し、修繕・補修を迅速に行い、学習に必要な教材・教具の整備等に努める。</p> <p>② 情報主任や学校図書館司書と連携し、教材を職員間で共有するなど、児童の個人用パソコンや図書室が活用しやすいよう、環境整備に取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>92.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>79.1</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ICT環境や活用し、授業の様子を学年だよりやホームページ等で保護者に知らせる。</p>	児童	92.0	保護者	79.1	地域住民		教職員	100.0
児童	92.0									
保護者	79.1									
地域住民										
教職員	100.0									

	<p>B2 教師とのコミュニケーションを深め、明るく前向きに学校生活を送っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、話をよく聞いてくれる。」 ⇒児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「なんでも相談月間」を年2回全児童と実施し、児童の悩み等を把握し、早期の解決を図る。</p> <p>② 随時話合いの時間を設け、児童とコミュニケーションをとる機会を設けることで、前向きに学校生活が送れるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>93.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>88.0</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度同様「なんでも相談月間」を利用したり、児童個人の状況に応じて随時面談を行ったりして教師と児童の信頼関係を深める。</p>	児童	93.5	保護者	88.0	地域住民	100.0	教職員	100.0
児童	93.5										
保護者	88.0										
地域住民	100.0										
教職員	100.0										
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B3 地域資源を活用し、体験活動や交流活動を通して、思いやりの心や探究心を育てている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「地域の人や企業の人、他の学校との交流学習などは、楽しい。」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>① ○地域との交流学习や体験活動などを充実させることにより、児童の普段の生活や学習に広く生かしていく。</p> <p>② 地域人材と関わる学習一覧を作成し、6年間でどのような学習機会があるのかを検討し、6年間を見通した教育活動が展開できるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>86.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>96.0</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】</p> <p>・感染症対策を講じ、活動内容を工夫し、各幼稚園、保育園、学校との交流を計画的に設定する。また、地元の企業等を活用し、児童にとってより効果的な活動となるよう検討しながら継続して行っていく。</p>	児童	86.4	保護者	78.5	地域住民	100.0	教職員	96.0
児童	86.4										
保護者	78.5										
地域住民	100.0										
教職員	96.0										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> ・「児童は、思いやりの心をもっている。(A 2)」の肯定的回答割合は、全対象者において90%を上回ったことから一定の評価を得られたものとする。 ・「学校全体に活気があり、明るくいいきいきとした雰囲気である。(A 1 7)」の肯定的回答割合は、全対象者において90%を上回ったことから一定の評価を得られたものとする。 ・「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。(A 1)」の肯定的回答割合は、教職員、保護者、児童において90%を上回った。継続して協働的な学びの充実に努めてきた成果と考える。 ・○「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。(A 4)」の肯定的回答割合は、教職員、保護者、地域住民において、昨年平均を下回る結果となった。次年度は、毎月の「かわちあいさつの日」に、児童会を中心に、地域学校園あいさつ運動に取り組むなど、具体的な方策を立てて実践する。 ・○「学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている。(A 2 1)」の肯定的回答割合は、保護者、児童において、市の平均を下回る結果となった。次年度は、地域学校園内で、学校運営に関する情報を共有し、連携・協力するとともに、保護者や地域住民に対して、より一層の情報発信に努める。 ・「児童は、学校や家庭で進んで読書に親しんでいる。(B 1)」の肯定的回答割合は、保護者、児童において90%を下回る結果となった。次年度は、校内での読書のための取組をより推進し、児童の読書活動を活性化するようにする。
--

7 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。(A 4)」の肯定的回答割合は、教職員、保護者、地域住民において、昨年平均を下回る結果となったので、児童の中から出た意見を尊重していくなどのあいさつ運動をしていくとよい。 ・「児童は、学校や家庭で進んで読書に親しんでいる。(B 1)」の肯定的回答割合は、保護者、児童において90%を下回る結果となったので、読み聞かせボランティアを増やしていくなどをするとよい。 ・「学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている。(A 2 1)」の肯定的回答割合は、保護者、児童において、市の平均を下回る結果となっているが、取組を行っていることについて保護者にはうまく伝わっていないのではないかなと思う。 ・「学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている。(A 2 1)」の項目については、河内中PTAとも協力、調整するなど検討することが必要かもしれない。 ・「児童は、学校や家庭で進んで読書に親しんでいる。(B 1)」の項目については、読書のきっかけ作りが求められる。 ・各項目の評価結果も高く、良い指導がなされ、良く学んでいると思う。今後も互いに協力し合い、継続を希望する。 ・ボランティアで伺った際に、元気よくあいさつをする児童が多い。 ・小中一貫教育・地域学校園については、回覧で読んでいる学校だよりでしか知る機会がないので、なかなか周知されないのではないかな。 ・登下校時には、子供たちが「おはようございます。こんにちは。」のあいさつが良くできていた。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 基礎・基本の確実な定着と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。
- (2) 互いのよさを認め合える集団づくりを大切にし、協働して課題を解決する態度を育成する。
- (3) 各教科等において、1人1台端末等のICTや図書等を効果的に活用し、情報活用能力の育成を図る。
- (4) 「岡本西小よい子の一日」（休み時間や授業など場面ごとの望ましい行動の例）を年度初めに周知し、基本的生活習慣の育成を図る。
- (5) ○保護者や地域住民に対して、いじめ防止についての学校の取組をさらに知ってもらうために、より一層情報発信に努める。
- (6) ○かわちあいさつの日には、地域学校園であいさつ運動を設定するとともに、児童の中から出た意見を尊重していくなどのあいさつ運動を展開できるようにする。
- (7) 学習や生活指導を通して、お互いのよさを認め合う活動を取り入れ、児童がクラスへの帰属意識を高められるようにする。
- (8) 道徳の授業や児童会活動、学校行事等を通して、思いやりの心を養うための指導を行う。
- (9) ○読み聞かせなど読書推進のための取組を継続し、地域学校園で連携して、読書活動の充実を図る。
- (10) ○幼稚園、保育園、河内中学校、岡本特別支援学校との交流については、児童の創意工夫を生かした活動内容を設定するなど、児童にとってより効果的な活動となるようにする。
- (11) ○自分の体や健康及び安全に関心を持ち、進んで体力の向上を目指す児童の育成をする。
- (12) 給食の時間や教科等において、食事のマナーと望ましい食習慣の向上を図る。